平成 22 年度

施設評価調書

施設の名称……爪木崎自然公園

所管担当課……産 業 振 興 課

平成 22 年 7 月

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

施 設 の 概 要

1　施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園		2　担当課 担当係	産業振興課 施設整備係
3　所在地	下田市須崎字池ノ段 1235 番地１　他３筆		4　設置年月	昭和 51 年 4 月 1 日
5　総合計画の位置付け	Ⅴ　ヒト・モノ・コトの豊かな交流づくり	身近な生活環境づくり	公園	
	施策体系	自然公園の整備	自然とふれあう場の整備	
	主要事業	保健休養林整備事業	保健休養林の整備	
6　設置目的	すぐれた自然環境を保護し，かつ，市民の健全な憩いの場として活用するため			
7　設置根拠	下田市保健休養林爪木崎自然公園設置管理条例			
8　施設の概要	施設の概要	敷地面積　350,000 ㎡　土地所有者：須崎財産区（無償貸与） 下田市須崎字池ノ段 1235 番地 1・1236-1・1237-1・1237-3		
		施設　管理事務所・休憩所・便所・駐車場 遊歩道		
	実施事業の概要	平成 21 年度事業概要 園内草刈の実施（総務課施設係） 施設修繕　トイレ浄化槽、園内道路、駐車場舗装修繕、温室暖房機器修繕 自然とふれあうみどりの日の集い「爪木崎自然観察会」（環境省・下田市主催）		
	料金体系	料金区分	有料施設：駐車場	
		主な料金	駐車場 １日　二輪車 100 円　普通車 1,000 円　大型 1,500 円 有料供用期間　7 月 1 日から 8 月 31 日 （下田市保健休養林爪木崎自然公園管理運営協議会にて期間を決定） 有料供用時間　午前 8 時から午後 5 時	
		減免内容	（使用料の免除） **第 10 条**　市長は，第７条の規定にかかわらず，次の各号のいずれかに該当するときは，使用料を免除することができる。 （1）　市が使用するとき。 （2）　前号に掲げるもののほか，市長が適当と認めるとき。	
		利用料金制度	☐　有　☑　無	
	施設運営方法	☑　直接運営		
		☐　指定管理者制度　→	指定管理者	
		☐　一部委託　→	委託内容	
	直接従事職員	下田市職員数　臨時職員（総務課施設係）　４人 委託団体職員数		
9　市内の類似施設	下田市所有	都市公園９施設、寝姿山自然公園		
	民間所有	無し		

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

10　取得費等の情報（単位：円）

取得費及び財源内訳			平成 21 年度末残高		（備考）
土地取得費			土地残高		減価償却の方法 ・ 定額法 ・ 残存価格ゼロ ・ 耐用年数 年
建物取得費			建物減価償却後残高		
建設事業費		90,000,000			
財源内訳					
	県支出金	30,000,000			
	市債		市債残高	0	
	一般財源	40,000,000			
	寄附金等	20,000,000			
物品（　＊万円以上）			物品減価償却後残高		

11 年間経費等推移（単位：円）

区分		H19 年度決算	H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度予算
収入	駐車場使用料	3,739,100	3,576,000	4,086,300	3,910,000
収入合計		3,739,100	3,576,000	4,086,300	3,910,000
支出	1 節　報酬	0	20,000	24,000	48,000
	7 節　賃金	7,780,570	7,951,530	8,282,340	9,115,240
	11 節　需用費	887,803	1,950,938	2,877,847	2,855,000
	12 節　役務費	118,882	265,067	260,957	386,000
	13 節　委託費	0	98,700	1,403,025	1,400,000
	14 節　使用料及び賃借料	0	0	14,910	15,000
	15 節　工事請負費	0	0	0	0
	16 節　原材料費	0	0	26,775	80,000
	18 節　備品購入費	0	0	701,400	0
	22 節　補償補填及び賠償金	0	0	0	0
	27 節　公課費	0	0	8,800	0
支出合計		8,787,255	10,286,235	13,600,054	13,899,240
（収入－支出）		△5,048,155	△6,710,235	△9,513,754	△9,989,240
減価償却費		0	0	0	0
市債利子		0	0	0	0
下田市負担年間総経費		5,048,155	6,710,235	9,513,754	9,989,240
備　考	○　人件費は、実額を算出記載（正職員・嘱託職員等の人件費総額） ○　減価償却費は、初期投資のうち国庫・県負担分を控除した額を基礎としている。				

12　施設利用状況等の推移

	利用年度	H19 年度決算	H20 年度決算	H21 年度決算	H22 年度予算
利用状況	利用者数	16,713 人	19,404 人	18,321 人	20,000 人
	参考:利用単位当たり市負担額	401.50 円	401.23 円	519.28 円	499.46 円
開場日	指定無し				
使用時間	指定無し				

13　利用者満足度調査

実施の有無	□ 有　☑ 無	調査結果	
直近の実施時期			
調査手法			
調査数			

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

業　績　評　価

１　目標達成度

目標達成度	区　　分	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
	利用者数　　の目標値	人	20,000	20,000	20,000	20,000
	〃　　の実績	人	16,713	19,404	18,321	
	目標達成度	%	83.57	97.02	91.61	

選択した指標	□　成果指標
	☑　成果指標の代替指標
指標選択の理由	目標達成度を選定する指標として同指標を選択した理由
	市民の健全な憩いの場として活用される公園であり、温室や花園には地域経済の支えとしての役割も有している。

指標設定の考え方	区　分	指　標　名	指　標　の　考　え　方
	成果指標		
	代替指標	駐車場入場者数	維持管理費への充当
		自然環境保護と花園等維持管理	地域経済の支えとなる

（参考）

活動指標（施設の目的を達成するための具体的な手段におけるそれぞれの達成度合を把握できる指標）

活動指標			区分	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
活動指標①	目標指標	駐車台数	目標値	台	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	台	3,571	4,468	4,107	
			達成度	%	71.42	89.36	82.14	
	目標指標の考え方	目標値の算定：平成 20 年度駐車台数実績値 10%増の 5,000 台とする。						
活動指標②	目標指標	利用者数	目標値	人	20,000	20,000	20,000	20,000
			実績値	人	16,713	19,404	18,321	
			達成度	%	83.57	97.02	91.61	
	目標指標の考え方	目標値の算定：平成 20 年度の目標値 20,000 人とする。						
活動指標③	目標指標		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指標の考え方							

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

２　効率性

効　率　性	区分	説明	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
	施設の総利用者数等①		人	16,713	19,404	18,321	20,000
	年間経費②	施設の事業費・運営費および人件費の合計額	円	10,286,235	12,208,002	13,600,054	13,899,240
	利用単位当たり経費	②÷①	円/人	615.46	629.15	742.32	694.96
総利用者数等の考え方 施設の総利用総数等に用いた指標について記載してください。			備考 コスト評価項目に関して留意事項、補足項目等があれば記載してください。				

その他の指標			区分	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
目標指数①	目標指数		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指数の考え方							
目標指数②	目標指数		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指数の考え方							
目標指数③	目標指数		目標値					
			実績値					
			達成度					
	目標指数の考え方							

受益者負担の適正性	区　分	説　明	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度
	①有料部分の年間経費	使用料等を徴収する部分の年間経費	円	10,286,235	12,208,002	13,600,054
	②受益者負担額	施設の本来の目的による使用料等の年間総額	円	3,576,000	4,422,600	4,086,300
	③受益者負担比率	②÷①	%	34.76	36.23	30.05
	④補正受益者負担額	減免者より正規の料金を徴収したと仮定した場合の受益者負担額	円			
	⑤補正受益者負担比率	④÷①	%			

【参考】

運営に掛かる税負担(市民負担)	年度		H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度(予算)
	人口（4 月 1 日：人）		26,197	25,802	25,549	25,224
	人口 1 人あたり（円/人）	運営経費（収入除く）	393	473	532	551
		年間総経費	256	302	372	396

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

施設の現状分析

判断視点項目				施設の状況
施設方向性の判断視点	①	施設の設置目的が時代のニーズに適合しているか	設置目的に沿った利用がされているか	須崎半島における、自然環境を保護し、市民の健全な憩いの場として、多くの市民、観光客が訪れている。
			住民の福祉の向上に対し、どのように寄与しているか	駐車場を有し、自然探勝等「自然と人」が気軽に触れ合うことのできる場として活用されている。
			将来に亘り必要な施設として住民の期待を高めていけるか	自然探勝のほか水仙祭りや夏の海水浴など市民や観光客に利用されている。観光資源としての期待も大きい。
	②	施設が十分に利用されているか	施設の修繕計画はどうなっているのか	トイレ、四阿、管理棟などの施設がある。管理棟は築後 34 年経過しており、老朽化が目立ってきたが、現在修繕計画は策定していない。その他の施設も修繕計画を策定していない。
			施設の運営方法と利用者の情報交換はどのようにされてきたのか	須崎区と下田市において運営にあたっている。運営方法等は爪木崎保険休養林管理運営協議会に諮り進めている。利用者に対するアンケート等の意見聴取はしていない。
	③	施設の管理運営主体が施設の利用目的から判断して適切であるか	同様の施設の設置がされているなど競合していないか	他に寝姿山自然公園があるが、設置場所や設置目的が異なるため競合しない。
			民間においても十分可能な施設なのか	収支状況から考えると民間で運営は不可能と考える。
	④	使用料、利用者数、支出額、市負担額が適正であるか	使用料の算定に当たり実費経費と住民福祉の向上の比較はどうなのか	夏期の駐車場使用料を徴収している。 これは管理費用の 40%余りであり、花園や水仙園の管理費や繁忙期の駐車場管理費に補填されている。
			同種施設との比較、近隣施設との比較はどうなのか	市有の類似施設として寝姿山自然公園があるが施設の充実度等を比較して妥当であると思われる。
			計画上の利用者数と実際の利用者数の違いがどうなっているのか	年間計画でみると、平成 19 年度 83.57%と比較して平成 20 年度 97.02%、平成 21 年度 91.61%と上昇しているが、平成 22 年度は平成 20 年度並みの利用者数が確保できるよう運営していく。
			施設の耐用年数は何年有るのか	管理棟建設が S51･･･34 年経過
			施設の今後の維持経費の算定はどうなのか	管理棟は老朽化にており、今後維持経費はかかるが、使用形態が事務所だけ。

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

施設の現状分析

判断視点項目				施設の状況
行政規模からの判断視点	①	施設の管理運営に係る経費が財政規模からして適正か	施設の管理運営の経費支出が下田市の行政経営からして妥当なのか	平成 21 年度における管理運営費は 27 円/㎡となっており、都市公園の管理費 50 円/㎡と比較し妥当と考える。
			現行の管理運営を今後も継続していくことが適切か	須崎区、下田市と管理区分を設けそれぞれ適正に管理しているため、今後も継続していくことは適切である。
	②	地域的な施設配置のバランスは適正か	旧町村単位における施設配置の見直しはされているのか	自然公園は良好な自然景観を生かした施設であるため、バランスを考慮しての配置は困難である。
	③	施設の統廃合が可能な施設はないのか	施設統合が出来る施設の組み合わせは有るのか	都市公園と自然公園は設置コンセプトが異なるため、施設を統合させることは困難である。それぞれ存続させる必要がある。
			老朽化と施設維持の比較から改築廃止をどう考えていくのか	老朽化し、利用されない施設があれば廃止は必要である。管理棟は建設より 30 年余が過ぎ、施設利用を再検討する必要がある。当面小修繕にとどめ、将来的には取り壊しを含め検討する必要がある。
			地域、民間に譲渡できないのか	地域で委譲の希望があれば検討する必要がある。
			施設の目的の範囲を拡大することにより統廃合可能にならないか	困難である。
その他				

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

見直しの方策

評価種別		改善・見直しの方策案
市民と行政の役割分担評価	行政関与の妥当性	第３次下田市総合計画において豊かな自然を生かし、「自然と人」が気軽に売れあうことのできる場として自然公園の整備が求められている。
	受益者負担の妥当性	公園内には利用者用の駐車場が整備されており、施設管理運営費に補填する目的で駐車場利用料を徴収している。
	実施主体の妥当性	本施設は、市民の身近な生活環境の向上を目的とし昭和 48 年度より３年間で県補助金と市費により建設されたものであるため市が管理することが妥当である。
	廃止・休止・縮小・外部委託化・民営化などの方向性	建設時の協定では須崎区への委譲について決められていたが、現在まで区からの要望はない。60 ヘクタールに及ぶ管理は容易ではないが、今後須崎区等から要望があれば民営化を検討する必要がある。
業績評価	利用者数等の目標数値及び利用者向上策など	平成 20 年度は夏季の天候が良好であったため、利用者数は対前年比 116%と向上した。今年度も前年度同様の利用者数を期待したい。
	執行方法の見直しなどの効率化のための目標及び方策	市の直営方法に見直し計画はない。
	受益者負担の現状及び適正化のための方策など	有料施設の拡大はない。
アンケート調査等	市民アンケート調査等の結果	未実施
サービス面等	サービスの迅速性や利便性など	
	利用者満足度の観点からのサービス提供の質の改善方法	アンケート調査は実施していないが、設置目的に沿わない要望も聞こえる。本施設は都市公園とは異なるコンセプトで設置されており、この施設を要望するニーズもあるため改善は考えていない。

平成２１年度事業内容及び見直し事項

事業内容	花園、水仙園、駐車場、遊歩道等の施設管理を行う
見直し事項	現状を継続していく。

平成２２年度	施設名（愛称名）	下田市保健休養林爪木崎自然公園	番号	８５

施設懸案事項

No.	懸案事項	改善経費	備考
1	トイレ修繕	一部改善	平成 21 年度に駐車場トイレの照明の改善を実施した。
2	四阿修繕	未調査	
3	遊歩道の整備	未調査	
4	藤棚修繕	未調査	
5	温室の耐震化	未調査	
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			

今後の方向性

今後の方向性	☐ 充実 ☐ 効率化等による見直し ☑ 現状のまま継続等 ☐ 縮小等による見直し ☐ 統廃合を進める	（具体的な内容） 新規施設建設計画や、既存施設の大規模な改修等現在計画していない。既存施設の管理を良好に行い水仙祭り等既存事業に訪れる市民及び来遊客の増加を図りたい。